

R8 西台中コミュニティ・スクール委員だより 第2号

令和8年6月 西台中学校コミュニティ・スクール委員会

6月10日(水)に開催された**道徳授業地区公開講座と意見交流会**(第2回コミュニティ・スクール委員会)についてご報告させていただきます。

道徳授業地区公開講座は、これまでも何度か参観する機会がありましたが、今回も大人である私たち自身が考えさせられるテーマ(以下、道徳授業学習主題参照)が扱われていました。

生徒たちはそれぞれの経験や価値観をもとに、自分の考えをしっかりと発表しており、その意見に耳を傾けながら「自分だったらどう考え、どう行動するだろうか」と改めて考えさせられました。

その後の**意見交流会**では、「みんなで育てる西台中生の心～子どもたちの現状に寄り添う道徳教育のあり方～」をテーマに、授業を担当された先生方をはじめ、参観された保護者や地域の方々と活発な意見交換を行いました。

様々な立場からの考えや思いを共有することで、道徳教育が生徒たちの豊かな心や判断力を育む上で大切な役割を果たしていることを改めて認識するとともに、生徒一人ひとりの考えを引き出し、深めていくことの難しさを感じました。



特活室で行われた意見交流会の様子

■道徳授業学習主題

7学年	「さかなのなみだ」 公正、公平、社会主義 ～よりよい集団を築くということ～
8学年	「他人の靴を履いてみる」 相互理解・寛容 ～他人の立場から物事を見て自分の世界を広げよう～
9学年	「違うんだよ、健司」 友情・信頼 ～本当に友達を思いやるということ～

■意見交流会における各グループの主な意見(発表内容)

Aグループ

- ・子どもたちを取り巻く環境・現状(家族の形の変化、意見がぶつかり合うことが減っている等)において、基準がない中で、道徳心を育てていくのが難しいという意見があり、ただ、だからこそ、今道徳教育を行う必要性があるという意見があった。
- ・考えること、話すこと、つながりが大事。学校内だけでなく、地域等とより広くつながることで、災害への備えにもつながっていくという意見が出た。

Bグループ

- ・各学年の現状についての共有後、意見交換を実施。スマホの普及により、子どもたちの人間関係が見えなくなっていること、何か問題があっても、先生に報告するだけで終わってしまう等の意見が出て、リアルなぶつかりが少ないという話になった。
- ・コミュニティ・スクール委員より、外部でクラブ活動を行っている生徒は、その中で道徳的意識が育っているという話があった。

Cグループ

- ・各学年の現状共有や保護者からの感想の中で、西台中の生徒たちは挨拶がよくできるという話が出た。そういった授業以外での良いところを活かしながら、道徳的価値観を育てていくことが大事だという意見が出た。
- ・授業においても、生徒の意見(考え)をそのまま受け止めるのではなく、教師がそれをさらに深めていけるようにしていかなければならないという意見があった。